



地域・社会とともに

日本化薬グループは、地域社会の活動に参加し、次世代を担う人材の教育支援やステークホルダーの皆さまとコミュニケーションを活発に行い、地域に根付いた会社を目指しています。

健康で豊かに暮らせる社会づくり

難病とたたかう子どもと家族の滞在施設「あすなろの家」

「難病とたたかうお子さんご家族の手助けに」を合言葉に、1998年に日本化薬創立80周年記念事業の一環として、病気のお子さんに付き添われるご家族用の滞在施設として埼玉県さいたま市に「あすなろの家」を開設し運営しています。

あすなろの家を利用されるご家族の皆さまに気持ちよく滞在いただけるよう、2018年から年2回、日本化薬と関係会社の従業員やOBによる清掃や草刈りなどのボランティア活動を行っています。

利用されるご家族のプライバシーを守りつつ、そのご家族同士の交流を図ることができるように、またご家族にとって精神的・経済的な負担の軽減にお役にたてる施設となるように努めています。

> 「あすなろの家」概要 



従業員やOBによる清掃や草刈りなどのボランティア活動

Message

私は、2017年からハウスマネージャーとして務めています。

1998年に開設してから22年目を迎え、今までに3,500組（のべ65,000人）を超えるご家族が利用されています。

2016年にさいたま新都心に移転開院した埼玉県立小児医療センターを始めとして、近隣には小児医療に力を入れている医療機関が多く、今後も利用される方が増えていくと予想されます。

時代とともに当施設に求められるニーズをいち早く感じとり、利用されるご家族がより安全・安心・快適



ハウスマネージャー

にお過ごしいただけるよう「あすなろの家」も日々変化し続けています。
お子さまが退院され、ご家族がお帰りになる時の「ありがとう」の一言が最高の勲章です。

LRIへの支援

LRIとはLong-range Research Initiative（長期自主研究）の略で、日米欧の化学産業界（日本化学工業協会、米国化学協議会、欧州化学工業連盟）の協力下で進められている活動です。ICCA（International Council of Chemical Associations）の自主活動のひとつであり、内分泌かく乱作用、神経毒性、化学発がん、免疫毒性、リスク評価の精緻化に焦点をあて、人の健康や環境に及ぼす化学物質の影響に関する研究を長期的に支援しています。

日本化薬グループはこのLRI支援活動が始まった1999年から積極的に賛同し、LRI活動のための資金を出資及び委員会への出席をしています。

> [LRI](#)

次世代育成支援

教育CSRへの取り組み

日本化薬は、未来を担う子供たちに化学の面白さを少しでも理解していただけるよう教育CSRとして、「出張授業型」「施設見学型」「イベント型」の3とおりで取り組んでいます。

出張授業型

出張授業は小学校の指導要領に即した独自の教育プログラムを開発し、工場のある地域の小学校で実施しています。

■ 出張授業：「体のふしぎ発見！～体のしくみとくすりのかわり～」

医薬事業に関わりのある理科単元「人の体のつくりと働き」を発展させた次の4点について実験を通じて学べるカリキュラムです。

- ①食べ物消化されどのように栄養が血液中に取り入れられるのか、全身をめぐるのが
- ②くすりの成分がどのように小腸から血液中に取り入れられ、全身をめぐるのが
- ③くすりが効果を発揮することと体の仕組みには深く関わりがあること
- ④くすりを作る会社がさまざまな工夫や努力を行っていること

高崎工場 高崎市立岩鼻小学校6年生を対象に実施

2019年6月に高崎市立岩鼻小学校6年生を対象に出張授業を実施しました。
高崎工場の専門性の高い知識を持つ従業員が講師や補助スタッフとして参加しました。
多少緊張しながらも子どもたちに寄り添い、より理解を深められるようにアドバイスをしながら授業を進めました。今後子どもたちに化学の面白さや社会とのつながりを身近に感じてもらえる機会を提供できるよう継続して取り組みます。



東京研究事務所 北区立なでしこ小学校6年生を対象に実施

2019年7月に東京都北区立なでしこ小学校6年生を対象に出張授業を実施しました。
医薬研究所と機能化学品研究所の研究員が講師や補助スタッフとして参加しました。児童の皆さんは授業中に行われる実験に興味を持ち、真剣に聞き入っていました。先生方からも感謝の言葉をいただきました。



た。このようなイベントを通し、化学について興味を持ってもらうとともに日本化薬についてもよりよく知っていただきました。

施設見学型

姫路工場 次世代育成の取り組み

2016年の創立100周年記念事業から開始した「しゅわしゅわタブレット作り」と「工場見学」を姫路工場近隣の豊富小学校の6年生対象に実施しました。2018年度は4回目の開催となり、総勢24名が参加しました。

子どもたち全員が興味を持ち参加できるよう火薬に関する知識などをクイズ形式にしました。また、化学やモノづくりにも興味を持てるように姫路工場で製造しているガス発生剤を模した入浴剤の「しゅわしゅわタブレット作り」をしました。

子どもたちは、製造ラインの見学だけでなく、普段ではめったに体験できない「エアバッグ展開」を間近で観察しました。



イベント型

厚狭工場 山陽小野田市主催の「かがく博覧会」 小中学生を対象に「クロマトグラフィーを使ったうちわ作り」を開催

厚狭工場は毎年恒例となっている山陽小野田市主催の「かがく博覧会」に出展しました。今年は「色で遊ぶ」というテーマで、クロマトグラフィーの実験を行い、世界に一つだけのうちわ作りを体験してもらいました。

子どもたちには、うちわ作りの中で色が分離する仕組みを説明し、科学の不思議に触れてもらいました。



鹿島工場 茨城県神栖市主催のかみすフェスタ「消費生活展」 小学生の子どもたちを対象に体験型イベントを開催

鹿島工場とアグロ研究所は、『次世代に化学の面白さを伝える・育てる』ための地域貢献活動を目的として、毎年10月開催の茨城県神栖市主催のかみすフェスタ「消費生活展」に出展しました。

日本化薬のブースでは、鹿島工場やアグロ研究所が保有する技術、製品を活かした「〜つぶつぶカプセルをつくってあそぼう〜」を実施しました。参加した小学生の子どもたちは「人工イクラ」づくりの簡単な化学実験を体験しました。



東京研究事務所 小学校夏休み子ども公開講座の開催

2019年8月、東京都北区立なでしこ小学校の3年生から6年生までを対象に、夏休み公開講座を開催しました。

東京研究事務所や各研究所メンバーが協力して、光硬化性樹脂であるアクリルレジンを使用した実験を実施しました。

光を当てると、液体のアクリルレジンが、固体へと変化する様子に子どもたちは夢中になっていました。東京研究事務所ではこのようなイベントを通し、化学について興味を持ってもらい、さらに日本化薬についてより知っていただくイベントを開催していきます。



東京研究事務所・本社 日本化学工業協会主催の
～「夏休み子ども化学実験ショー」～ 実験教室を開催

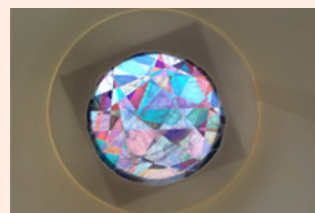
日本化薬は2019年8月3日～4日の2日間、科学技術館（東京・九段下）で開催された小学生向けの化学実験イベント「夏休み子ども化学実験ショー」に出展し、200名を超えるお子さんに参加いただきました。

「レジンで作るキラキラキーホルダー～光でかたまる、不思議な液体のナゾ～」というテーマで光硬化性樹脂であるアクリルレジンを使った工作を行いました。夏休み子ども化学実験ショーで「光硬化性樹脂」をテーマにするのは、初めての試みでしたが、かやくーまのシールやキラキラビーズを自分好みに配置し、世界に一つだけのキーホルダーが完成すると、子どもたちは歓声をあげて喜んでくれました。



ポラテクノ 新潟県上越市の上越科学館にて
偏光フィルムを使った科学工作を開催

ポラテクノのある新潟県上越市の上越科学館では、「人間の科学」と「雪の科学」をテーマに、9つのゾーンで「みて、ふれて、たしかめて」を通し体験して楽しめる展示を行っています。イベントの一つで、「サイエンスひろば」の「紙コップで万華鏡」ブースに、ポラテクノは自社の偏光フィルムを提供し子どもたちに科学工作を楽しんでもらいました。



KSM 継続的な教育サポートの実施

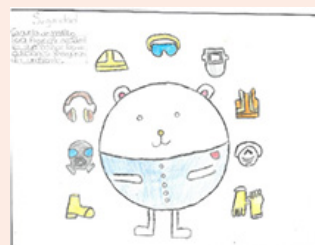
KSM※では、では、従業員の福祉を大切にするため、従業員の子どもの学習支援プログラムを2014年から実施しています。2019年8月には、29人の従業員の子どもの教育を支援するイベントを開催しました。

イベントでは参加した子どもたちそれぞれが「安全第一」「高い品質」「日本化薬グループの企業ビジョン KAYAKU spirit」「地球環境への配慮」などをテーマに、日本化薬のマスコットキャラクターである「かやくーま」をモチーフとして絵を描きました。そして、イベントの終わりには、保護者の負担を軽減し問題なく通学を続けられるように、必要な学用品一式が入ったバックパックを子どもたちに提供しました。

※ KSM：メキシコにある自動車安全部品を製造しているグループ会社



プレゼントした学用品を手にみんなで集合写真を撮影



地域への取り組み

日本化薬グループでは、工場祭や各施設の開放、教育活動、寄付や協賛などの支援、献血、ピンクリボン活動、清掃活動、懇談会などを通して地域の皆さまに当社グループの事業内容をご理解いただけるよう努めています。

今後もさまざまな交流の場を設け、地域の皆さまとのコミュニケーションを活発に行い、地域に根付いた会社でありたいと願っています。

日本化薬の締結している主な地域との協定

事業場	協定名	協定先
福山工場	公害防止に関する協定	広島県、福山市
厚狭工場	水質汚濁防止に関する協定	山口県漁業協同組合
	環境保全に関する協定	山陽小野田市
東京工場	緑の協定	足立区
	着色排水問題協議会設置の合意書	東京都下水道局第二管理事務所
	震災時における災害時相互応援に関する協定	足立区新田町内会、新田一丁目団地自治会
	市民用小型ポンプ格納庫設置場所	千住消防署
東京研究事業所	消防関連施設提供 1. 消防水利の提供 2. 渡し舟の災害救助時の出勤 3. 消防団協力事業所 4. 高所見張所としての屋上部分の使用協力	東京消防庁赤羽消防署
高崎工場	自衛消防隊の消火協力に関する協定書	高崎市等広域消防局
姫路工場	排水の管理に関する覚書	姫路市
鹿島工場	公害防止に関する協定	茨城県、鹿嶋市、神栖市

活動事例

Kayaku Safety Systems Europe a.s. (KSE)

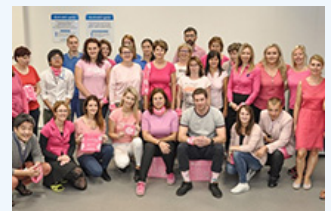
第5回目のピンクリボン活動はとて盛大に行われました

KSE※1は、2019年10月に第5回ピンクリボン活動を非営利団体のONKO-DUHA Vsetin※2と協力して行いました。今年は、このイベントに地域の学校、病院、公立図書館などの機関も参加し、KSE従業員もピンクの服、アクセサリーを身に付けて、イベントをサポートしました。

地元のテレビ局によりイベントを通して、フセチンの外科医、ZO ONKO-DUHAの会長によるインタビュー映像が放映され、その中で乳がんの予防のための定期的な自己診断の重要性、今後もこのようなイベントを続けていくことで自分には関係ないと思っている人たちの意識を変えていくことができると述べました。イベントにはフセチンとその周辺地域の約3,000名の住人が参加し、参加者には乳がんについて書かれたパンフレットの他にピンクのスカーフが配られました。

※1 KSE：チェコにある自動車安全部品の製造および販売会社

※2 ONKO-DUHA Vsetin：SPCCH（チェコ共和国の疾病予防の啓蒙NGO）のフセチン支部、2015年からKSEが財政的支援している団体



KSEの従業員も、ピンクを着てキャンペーンへの支持を示しました。

Kayaku Safety Systems de Mexico, S.A. de C.V. (KSM)

ピンクリボン活動

10月は乳がん啓発月間です。

KSMは、ピンクリボンキャンペーンを社内でも実施し、すべての従業員を対象に乳がんの早期発見の重要性、セルフチェックのやり方などを教え、従業員たちの家族にもその情報を共有するように呼びかけました。

2019年は、赤十字（Cruz Roja Mexicana）から、Alejandra Aguilera氏およびCarmen Muñoz氏を講師として招き、乳がんの早期発見の重要性やセルフチェックのやり方、乳がんの特性を中心に、健康な生活を送ることの重要性について講義していただきました。また、講義だけでなく、実際にシリコンのサンプルを使って乳がんのセルフチェックのやり方を学び、従業員と講師の間で意見交換を通して乳がんについての知識を深めました。

講義後には講義内容が記載されたパンフレットとともにピンク色のタオルを全員に配りました。





KSE 従業員発、養護施設への寄付活動

KSEは2019年12月にチェコの町、バラシウスケーメジジーチーにある養護施設へ30,137コルナの寄付を行いました。このお金はKSEの従業員たちから集めたもので、養護施設での活動費（映画や動物園に行くなど）に使用される予定です。

養護施設の子どもたちだけでなく施設の運営者たちもこの寄付に大変満足され、感謝されました。家族と一緒に生活のできない子どもたちにとっての最高のクリスマスプレゼントになったと考えています。

KSEはこの他にも病院、慈善団体、青少年向けスポーツクラブ、学校、その他の教育・文化関連活動団体への寄付を行っています。従業員からも寄付を募り、2019年は計1百万コルナ（約460万円）の寄付を行いました。



KMY 初の献血活動を開催

2019年11月に近隣のTunku Jaafar Hospital Blood Bank Centreと協力し、KMY社内にて初めての献血活動を行いました。これは、Blood Bank Centreの要望とKMYの地域社会貢献の意向が一致し、実現しました。

当日は、人事部の呼びかけに応じ、約50名の従業員が献血を行いました。私たちの活動が、一人でも多くの血液を必要とされる方の助けになればと思います。

献血の前には医師によるHealth Talk、健康相談会も行われ、多くの従業員が耳を傾け、この機会を利用して自身の健康について考えました。

今回初の試みでしたが、今後も定期的開催し、従業員の健康増進と地域社会への貢献を進めていきたいと考えています。



過去の活動事例もクリックでご覧いただけます

■ 日本化薬の事例

福山工場 テニスコートを地域へ解放

[続きを読む▼](#)

福山工場

テニスコートを地域へ解放

福山工場はLED照明設備を保有したスポーツ施設として多目的グラウンド（野球場兼サッカー場）とテニスコートが5面、クラブハウス「憩」に休憩室とシャワー設備を完備して、地域に開放しています。



年間を通して野球、サッカー、テニスの練習や試合が数多く行われ、なかでもテニスコート利用者数は昼夜を問わず、施設全体の半数以上を占めています。また、年に一度、当工場テニス部主催の日化杯を開催し、学生からシニア世代まで毎年60名以上の方が参加しています。

2017年に開催した第20回日化杯テニス大会では、福山工場の製品がどのように使用されているのか等の紹介も行い、参加者へのノベルティーグッズを多数用意しました。

「コミュニケーションを通じて地域社会との共生と発展に貢献する」を合言葉に、これからも地域社会とより良い関係を築いていけるよう積極的に活動していきます。今後もより多くの方々を利用されるように整備していきます。

東京工場 インターシップの受け入れ

[続きを読む▼](#)

東京工場 インターシップの受け入れ

東京工場では毎年インターシップの受け入れを行っています。

2017年度は杉並工業高校から1名受け入れました。

インター生には、品質保証部と技術担当の仕事を体験してもらいました。品質保証部や技術担当の仕事はとても専門的な内容が多く初めて聞きことも難しかったと思いますが、教えてもらったことをメモに取るなど真剣に取り組んでいました。

普段、学校の教室で勉強している彼らにとって検査器具に囲まれる職場風景などは非常に新鮮だったようです。インターシップに来た学生が働くということを少しでも体感できるように、これからもインターシップの活動を続けていきます。



福山工場 インターシップの受け入れ

[続きを読む▼](#)

福山工場 インターシップの受け入れ

福山工場では毎年高校生のインターシップを受け入れています。2018年度は3名の生徒を受け入れ、製造部で4日間の就業体験をしてもらいました。普段の学校生活では体験できない作業の連続で緊張した様子でしたが、分からないことは自分から積極的に質問するなど一生懸命に取り組む姿がとても印象的でした。インターシップで経験したことや感じたことを将来の進路選択を考えるうえで参考にしてもらえればと思います。

福山工場では職業観や勤労観の教育に役立ててもらえるように、今後もインターシップ活動を続けていきます。



高崎工場 郡南産業株式会社 近隣保育所園児を招いて芋ほり開催

[続きを読む▼](#)

高崎工場 郡南産業株式会社 近隣保育所園児を招いて芋ほり開催

高崎工場では社宅の空き地を活用して畑をつくり、郡南産業が畑の維持管理をしています。毎年春になると畑に種芋を植え、収穫の時期を迎えると近隣の岩鼻保育所の園児たちを招待して芋ほりを行っています。

2018年11月14日に暖かい日差しの中で芋ほりを行いました。約50名の子どもたちが一生懸命芋ほりを行い、沢山のさつま芋を収穫することができました。大小さまざまなさつま芋がとれるたびに大喜びする姿をみることができ、子どもたちの記憶に楽しい思い出を1つ増やすことができたように感じました。この芋ほりは今後も継続的に行っていきます。



■グループ会社

株式会社ボラテクノ ラッピングトレインの運行

[続きを読む▼](#)

株式会社ボラテクノ ラッピングトレインの運行

ボラテクノでは2016年7月に迎える創立25周年を記念して、地域の足であるえちごトキめき鉄道に協賛し、社名ロゴ入りのラッピングトレインを運行しています。

また、ラッピングトレインのデザインは地元高校の県立上越総合技術高等学校建築・デザイン科の現役高校生に依頼、5つの案の中から社内投票により「空をイメージした青地に七色に輝く光の糸が世界の空をつないでいる情景」を描いた作品です。



Kayaku Safety Systems Europe a.s. (KSE) セイフティ・デイズ

[続きを読む▼](#)

Kayaku Safety Systems Europe a.s. (KSE) セイフティ・デイズ

KSE※は、地元のVsetin市と共催で交通安全イベント「セイフティ・デイズ」を2018年5月18日～20日の3日間開催しました。セイフティ・デイズ期間中は、図書館での講演会や映画館でのショートムービー、子どもたちの創作コンテスト、ポンプ車の体験プログラムなどがありました。

KSEは、会場でチェコの国産車に搭載しているKSEの安全製品の展示や紹介、衝突時のシミュレーションなどに参加しました。

また、Vsetin市立警察から自転車の安全保護具や盗難防止に関する情報提供や赤十字協会から怪我をした際の処置対応の紹介もあり、特に人気を集めたのは、事故を起こした車体から搭乗者を救出するVsetin市消防団のデモンストレーションでした。

今後も地元と協力して地域住民の安全に貢献していきます。

※ KSE : Kayaku Safety Systems Europe a.s. チェコにある自動車安全部品の製造会社



株式会社ニッカファインテクノ 地域との交流を深める活動

[続きを読む▼](#)

株式会社ニッカファインテクノ 地域との交流を深める活動

株式会社ニッカファインテクノは、日本化薬グループ唯一の国内商社です。その一拠点である北陸事業所は福井市にあります。

福井市は歴史のある情緒豊かな町です。それを物語るように毎年4月上～中旬に開催される「ふくい桜祭り」は2018年で第33回を迎えました。「歴史」「文化」「自然」「食」をテーマに工夫を凝らした企画に毎年大勢の見物客で賑わいます。メインイベントである「越前時代行列」は、柴田勝家公を始めとする郷土の英傑、偉人にスポットをあてながらも、お市の方とその三人の姫君を主役に、女性が多数登場する華やかで優雅な時代絵巻が展開されます。

また、誰もが自由に参加できる行列や賑わいエリアなどあり、気軽に楽しむことができます。この「ふくい桜祭り」に私たちニッカファインテクノは協賛しており、地域との交流を深める活動に力を入れています。



厚和産業 地域消防団活動の支援

[続きを読む▼](#)

地域消防団活動の支援

厚和産業では従業員の約1割が、地域消防団員として活躍しています。消防団員の主な役割は市防災訓練への参加、消防操法大会、高齢者の住宅防火診断などがあり、もちろん実際の火事の現場に駆けつけて避難誘導や消防署員の補助活動などもしています。



消防団員は、主に土曜・日曜日に活動していますが、平日の災害時には休暇を取り消防団員として従事しています。2010年の厚狭豪雨災害時には長期間にわたり活動しました。また、会社は安全第一で操業していますので、団員の消防知識と安全意識がとても役立っています。年に2回実施している場内の防災訓練の際には、彼らが日頃培った技術を他の従業員へも伝えています。

このような長年にわたる災害対応や消防団行事を理由とする特別休暇の取得を推進するなどの会社全体での取り組みが認められ、2012年に総務省消防庁消防団協力事業所に認定されました。また、このほど2018年3月に消防庁長官から消防団等地域活動表彰を受けました。この賞は、2017年度は全国で13事業所が受賞し、宇部・山陽小野田消防署管轄では初受賞となりました。

厚和産業は、地域貢献にもつながるのでこれからも消防団活動を支援していきます。

機能化学品事業

▶ 関連グループ会社

- MEMS用レジスト 製品情報
- クリーナー 製品情報
- 色素材料事業ウェブサイト
- 車載用次世代染料系偏光板 GHC 製品情報
- 高コントラスト無彩色偏光板 MUSAISYOKU 製品情報

医薬事業

▶ 関連グループ会社

- ▶ 一般・患者の皆さま
- ▶ 医療関係者の皆さま

セイフティシステムズ事業

▶ 関連グループ会社

- PARASAFE製品情報

アグロ事業

- アグロ事業ウェブサイト

